

マナマコ種苗の量産技術開発について	
ねらい:	中国で中長期的に安定した需要が見込まれるナマコを、アワビ、ウニに続く磯資源として展開するため、人工種苗の量産技術を開発し、(社)岩手県栽培漁業協会へ技術移転することを目的に、平成19年度量産試験で明らかとなった課題の解決を図る。
成果の特徴:	1 昨年からの継続飼育群を屋外10t水槽で潤沢な付着珪藻類と住み場を確保する「親仕立て」をしたことにより、今年度天然採捕群よりも良好な放卵が確認され、安定した受精卵の確保が図られた。 2 採苗数週間後の稚ナマコが、雑食性のシオダマリミジンコにより食害され生残率が大きく低下することを確認、珪藻の有無により食害が軽度になる可能性も示唆された。 3 昨年度(40.4mm・235千個生産)に引き続き、目標とする30mm・10万個生産は達成する見込み。
成果の活用	1 シオダマリミジンコの繁殖条件を考慮したフィルターの経済的・効果的な使用方法や、初期餌料の改良による稚ナマコの成長促進を図り、薬品を使用することなくシオダマリミジンコと共存した種苗生産方法を検討する。 2 (社)岩手県栽培漁業協会の新たな事業対象種として、開発したナマコ量産技術の移転を図る。 3 量産技術開発で得られた種苗を県内数カ所に集中放流し、漁協と連携して経済効果(成長・生残・回収率等)を検証する。

[具体的データ]

H20年度ナマコ種苗生産状況 4~6回次は水技より受精卵搬入

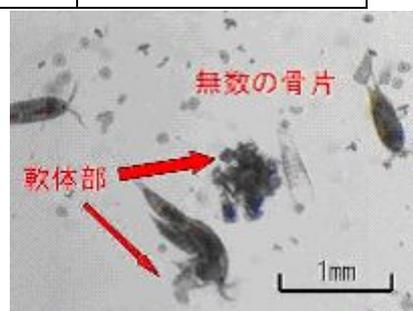
回次	1	2	3	4	5	6	計
採卵月日	6/25	7/2	7/10	8/22	9/8	9/16	
収容受精卵数(千個)	7,293	38,161	21,206	13,383	12,432	1,339	93,814
採苗時幼生数(千個)	4,784	29,654	15,666	5,269	6,537	1,025	62,934

H20年度ナマコ飼育状況 H21.3.6 現在

	飼育数(個)	平均体長(mm)	構成比(%)	10t水槽収容数(個)
L(26mm~)	35,319	36.5	11.6	10,000
M(15~25mm)	63,635	22.9	20.8	20,000
S(~14mm)	206,704	13.1	67.6	40,000
合計	305,658			



屋外水槽で飼育中の♀自然放卵



6月12日18:00頃【2月18日3.9℃~積算水温864℃】 微少甲殻類(シオダマリミジンコ)による食害

担当者	洋野町駐在 上席専門研究員 山口 仁 TEL0194-65-4750 FAX0194-65-4706
連絡先	〒029-00813 岩手県九戸郡洋野町種市第20地割177番地 ホームページ <a href="http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/">http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/</a>